

# かんてつ 貫徹通信

発行責任者：おおや 徹

発行日 2011年1月【第2号】

発行者 大矢 徹

連絡先 0466(23)5711

<http://ohyatoru.web.fc2.com/>

[mail:ohya.toru@gmail.com](mailto:ohya.toru@gmail.com)

## いきいきと暮らせるまち 『藤沢市』をめざします



わたしは「全国に誇れる藤沢市」を実現するための政策として、「いきいきと暮らせるまち」「安全・安心に暮らせるまち」「共に生きるまち」の3点を柱とした総合的な政策を掲げています。

今回の『<sup>かんてつ</sup>貫徹通信』では、そのひとつである「いきいきと暮らせるまち」について、わたしの考えの一端をお示しさせていただきます。

ぜひ多くの皆さまにご覧いただき、ご意見等いただければ幸いです。

### 市民病院の機能充実をめざします

- 一部の公立病院では、経営形態の変更（指定管理者制度の導入）等により、医師・医療スタッフが大幅に削減。一部入院停止、稼働病床数も大幅に減少するなど、地域を支える公立病院としての役割を果たし得ない状況となっています。  
地域医療の中心的な役割として、市民に信頼される藤沢市民病院の機能を引き続き確保していくためにも、医師・医療スタッフの充実にとりくみます。
- 地域医療を支える中核病院として、地域医療のバックアップ体制を確立し、より身近で受けられる地域医療の充実にとりくみます。

## 待機児童や福祉施設入所待ち解消にとりくみます

- 保育園に入園したくても入園できない子どもは、藤沢市内で726人(2010年4月現在)にものぼりました。この間、藤沢市は法人立保育園の設立や分園設置をすすめ、定員の拡大を図ってきましたが、対策が全く追いついていません。  
待機児童の解消は自治体の責任で喫緊に対応すべき課題です。法人立保育園だけにゆだねるのではなく、公立保育園においても施設の建て替えや増築等を進め、さらなる待機児解消を図るべきです。  
保育園に入園を希望するすべての子どもが入園できるよう、さらなる待機児童解消策の推進を求めています。
- 児童虐待に象徴される「育児の孤立化・放棄」への早急な対応をはじめ、すべての子育て家庭を地域社会で支える仕組みの強化・確立が求められています。相談体制の強化や交流・リフレッシュの場の拡充など、子育て支援のさらなる拡充にとりくみます。
- 2,851人(2010年10月)にのぼる、特別養護老人ホームの入所待ちについては、国の補助制度等の活用を図りながら、さらなる施設の拡充を求めて行きます。
- 一昨年から実施されている「事業仕分け」によって削減された各種高齢者福祉施策に対し、再度の見直しを求めます。

## 障がい者自立支援策を推進します

- 障がい者の雇用促進や法定雇用率確保に向け、職種・業務の開拓を進めるとともに、就労から定着化までを支援するネットワークの構築にとりくみます。
- 障がい者の自立支援に向け、湘南地域就労援助センターの機能充実と支援強化に向けとりくみます。
- 県立養護学校の収容能力拡大に向けた施設整備や、高等部(知的障がい者教育部門)での入学者選抜の実施を撤回するよう、協力議員と連携してとりくみます。

**ご意見等ございましたら、お気軽にお寄せください。**

とおる  
**おおや徹**  
プロフィール

### 【経歴】

1984 県立鶴嶺高校卒  
1988 日本大学生産工学部卒  
1989 藤沢市役所採用  
2010 藤沢市役所退職  
1996~ 湘南地域連合事務局長  
をはじめ労働組合役員を歴任

### 【生年月日】

1965年5月18日生 45歳

### 【趣味】

温泉、食べ歩き

### 【好きな言葉】

初心忘れるべからず